

令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 道路環境課
 担当名: 防災、補修、事故
 内線: 5098

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B11	社会資本整備総合交付金(維持)事業費		一般会計	土木費	道路橋りょう費	道路維持費	社会資本整備総合交付金(維持)事業費	
事業期間	昭和46年度～	根拠法令	道路法		宣言項目	03 大地震など危機への備えの強化		
					分野施策	020517 地震に備えたまちづくり		
1 事業の概要			5 事業説明					
道路交通による騒音の低減、老朽化するトンネル設備の更新などの適切な道路の維持工事を実施する。 (1) 舗装補修事業 △42,712千円 (2) 災害防除事業 23,000千円 (3) 構造物点検事業 △7,000千円			(1) 事業内容 ア 舗装修繕事業: 交通騒音から沿道環境の改善を図るため、排水性舗装を計画的に実施する。 イ 電線地中化事業: 良好な景観形成や歩行者の安全な通行を図るため、電線類の地中化を実施する。 ウ トンネル設備更新事業: トンネル内の安全な通行環境を確保するため、老朽化するトンネル設備の更新を実施する。 エ 構造物点検事業: 道路法で義務付けられた構造物の点検を実施する。 (2) 事業計画 ア 排水性舗装: 一般国道254号(和光市) イ 電線地中化: 主要地方道川口上尾線(川口市) ウ トンネル設備更新: 一般国道140号(秩父市) エ 構造物点検: 一般国道299号(飯能市) 外県内全域 (3) 事業効果 排水性舗装の実施により、沿道の騒音を低減させ、良好な住環境を確保できる。 電線類の地中化により、良好な景観形成や歩行者の安全な通行が確保できる。 トンネル設備の更新により、安全で快適な通行環境が確保できる。 (4) 過去の実績 平成26年度: 685,000千円 平成27年度: 868,000千円 平成28年度: 943,900千円 平成29年度: 959,960千円 平成30年度: 678,346千円					
2 事業主体及び負担区分								
○社会資本整備総合交付金 国1/2・県1/2 国4.5/10・県5.5/10 国5.5/10・県4.5/10								
3 地方財政措置の状況								
公共事業等債 充当率 90% (通常分50% 財対分40%) 交付税措置 財対分 50%								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×2人=19,000千円								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の予算額
決定額	△26,712	国庫支出金	県債				△356	1,130,042
現計額	1,156,754	595,127	308,000				253,627	